

福島島の立地

この項を更に設けたのは、加賀の国が越前の大きな国から独立し、一人前の国として認められた時代を考えて見たいからである。

中の庄や西任田の田んぼには、現在でも当時の遺物が再々発見することが出来るし、中の江の田地も構造改革で重機を入れて整理しなければ多くの遺物が発見されたに違いないと思つて残念であるからである。

また、大まかに越前国としての史料であるが、先に示したように「牛を殺して神に捧げる」とか、渤海使を迎えるに当たつて『路辺の死骸を埋葬せよ』などの命令は、当時の道路を外れた所に、野たれ死をした死骸が手当てもせずに放置してあつたことの証拠でもあろう。

また白山が中央でも、現在と同じように重要視されていた有様も判るし、当時の我々の先祖の有り様や息吹が想像できるところからである。

先に白山山脈は、息の詰まるような長い年月を経て形成される状況を学んだが、それをさて置いても現在の福島を中心とした「成り立ち」を、今まで研究された実績を勉強して見ようと思う。

福島周辺の在所の名前はなんと水に関係のある名前が多いと思いませんか。

福島島の島、小松砂丘の名前で有名な砂丘地に海に出ている意味の長

